毎月20日は ペットフードの日

一般社団法人 ペットフード協会

ペットと歯の健康（デンタルケア）

ペットの歯周病

歯周病は、口の中の細菌が食べかすを栄養として繁殖し増大することが原因で起こり、歯の表面で増殖すると「歯垢」となり、この歯垢が唾液に含まれるミネラルと結合し固まったものが「歯石」です。歯垢や歯石は放っておくと徐々に蓄積し、歯を支える歯茎にまで炎症を起こします。この状態になると、歯茎から出血するようになり、口臭や痛みで食事ができなくなります。子犬・子猫の時から定期的なブラッシングの習慣をつけておく必要があります。定期的に獣医師の診断を受け、歯垢や歯石を取ってもらうことも重要です。

ブラッシングの方法

ブラッシングは、犬猫に慣れてもらうことが非常に重要です。子犬・子猫のころから口の中に柔らかいガーゼや人間の子ども用の歯ブラシ等を入れる習慣をつけブラッシング等を嫌がらないように練習しましょう。

「歯周病の管理」

毎日ブラッシングをしていても、飼い主様が解らない部分に歯石が形成されることがあります。そのため獣医師に定期的に診断してもらうことが必要となります。年に1度の健康診断のときに必ず口腔内の検査もしてもらいしょう。ただし、歯石除去は基本的に全身麻酔で行われるため犬猫に負担がかかります。犬猫の体調や年齢により、獣医師と相談しながら管理することが良いでしょう。

ペットフード／ペットマナー検定公式テキスト及び会員社の「消費者相談」より